



ビューローが誘致した「人工知能国際会議」と「IAIA16」 平成 29 年度日本政府観光局の国際会議誘致・開催貢献賞を受賞

(公財)名古屋観光コンベンションビューローが誘致した国際会議のうち、「第 29 回人工知能国際会議」が誘致貢献賞、第 36 回国際環境影響評価学会年次大会 (IAIA16) が開催貢献賞に選ばれ、2 月 28 日に東京の京王プラザホテルで受賞式が開催されましたので、お知らせします。



本賞は、日本政府観光局(JNTO)が、国際会議の誘致及び開催における優れた功績を称えることにより、国際会議の意義の普及啓発や更なる推進を図るために、平成 20 年度に新設し、今年度が 10 回目の実施となります。

今回は平成 28 年度中に誘致・開催された国際会議の中から、コンベンション有識者で構成される審査委員会の審査を経て、国際会議誘致の部 7 件、国際会議開催の部 6 件の計 13 件が選ばれました。名古屋の開催としての誘致貢献賞は、今回が初めての受賞になります。



1 誘致貢献賞

- (1) 名 称 第 29 回人工知能国際会議 (IJCAI)
- (2) 開 催 年 2020 年(平成 32 年) 8 月中旬～下旬 (7 日間)
- (3) 会 場 名古屋国際会議場
- (4) 主 催 者 人工知能国際会議評議会 (IJCAI)、人工知能学会 (JSAI)
- (5) 参加者数 約 2,500 人～3,000 人
(50 カ国、うち海外から約 2,000～2,500 人)

写真：伊藤孝行教授(名古屋工業大学)と当ビューローの堀崎亘理事長



2 開催貢献賞

- (1) 名 称 第 36 回国際影響評価学会年次大会 (IAIA16)
- (2) 開 催 年 2016 年(平成 28 年) 5 月 9 日～14 日 (6 日間)
- (3) 会 場 名古屋国際会議場
- (4) 主 催 者 国際影響評価学会 (IAIA)
- (5) 参加者数 1,228 名 (76 カ国・地域、うち海外から 964 人)

写真：原科幸彦教授(千葉商科大学)